

友松会だより

平成 29 年 新春のつどい報告号

発行責任者 会長 芦川 弘

平成 29 年 2 月 3 日 発行

平成 29 年 1 月 28 日(土) 会場 重慶飯店別館

新春のつどい 次第

- 1 開会のことば
- 2 新年のあいさつ
- 3 お祝いのことば
- 4 ご来賓紹介
- 5 斉唱 一月一日
- 6 鏡開き
- 7 乾杯

<懇談>

- 8 ご来賓ごあいさつ
- 9 若手会員・学生会員紹介、激励のことば
- 10 先輩からひとこと（長老、退職予定者）
- 11 支部紹介
- 12 おとし玉抽選会
- 13 次期総会案内
- 14 師範学校校歌、学生歌
- 15 万歳三唱
- 16 閉会のことば

芦川会長 新年のあいさつ【要旨】



新年あけましておめでとうございます。本日は来賓として学長様をはじめ同窓会、校友会等より多くの方々のご臨席を賜り、会員 130 余名の出席により開催できますことに、お礼申し上げます。新春のニュースは、4 月、名実ともに教員養成を目的とする教育学部の誕生です。大学と友松会がさらに連携し、《有為な人材を送り出す》目的を共有していきたいと思えます。

昨年は、本部及び支部事業に協力いた

きありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。4 月には、昨年引き続き新学生会員を迎えますので、基盤強化、組織充実が図れ、さらに新しいものが生まれるのではないかと期待感が増します。昨年 6 月には、横須賀市を会場に 200 名を超える会員の出席により、総会を盛大に開催できました。10 月には、校友会主催のホームカミングデーに 1000 名を超す参加があり、友松会では大学と連携して、学生、保護者の参加を視野に、「豊かな教育を考える会」を実施しました。

本年は、「深まろう 高まろう つながる会員 つながる大学」のスローガンのもと、「さらなる友松会基盤強化と充実・活性化を図る」ために、本部・支部活動への積極的な参加と会員同士の絆を深めること、同窓会の役割として大学との連携強化と貢献に積極的にかかわることをねらいに活動したいと思えます。学部同窓会として、学生会員の受け入れ体制の充実と支援をさらに

強化し、友松会の存在が学生会員により強く意識されるよう努力していきたいと思えます。

友松会の充実と発展のためには、組織力の強化が何よりも大切です。寄付事業への協力、支部総会・同期会の開催、ゼミやサークルの所属者名簿の提供、会費納入会員の増強等の方策に加え、支部活動では総会・懇親会を各支部くまなく実施し、世代を超えた交流を深めていくことが大切です。129年の伝統を誇りとしつつ、教育学部の同窓会として、新たな役割を担う組織として脱皮する使命を果たさなくてはなりません。

友松会会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、本日までご出席の皆様方に感謝申し上げ挨拶いたします。

お祝いのことば

〈ご来賓代表〉

横浜国立大学学長長谷部勇一様、
名教自然会会長井上誠一様、
校友会会長杉田亮毅様



国大長谷部学長祝辞



校友会会長杉田氏祝辞

来賓代表祝辞をいただきました。「同窓会、校友会との連携強化、大学への支援に感謝している。」「グローバル化に向け、日本の教育の輸出、教育の国際化は、大学の存在価値を深め、ランキングを高める。」「教育学部となることで、学部の目的がはっきり見えてきた。」等、大学の改革期における友松会への期待が話されました。



恒例の鏡開き

〈懇親会〉

ご来賓の学部長代理大泉義一様、参議院議員那谷屋正義様よりご挨拶。若手会員、学生会員紹介では、平成26,28,27年卒業の会員3名、在学中の2年生2名の抱負と感想に歓迎の拍手が送られました。支部紹介では、全参加会員が登壇。おとし玉抽選会は、役員のカンパによる初企画で、賞品はすべて国大グッズとあって盛り上がりしました。楽しく歓談の後は、恒例の校歌、学生歌の大合唱、万歳三唱で、新春にふさわしい会となりました。



乾杯 金子顧問



若手会員紹介